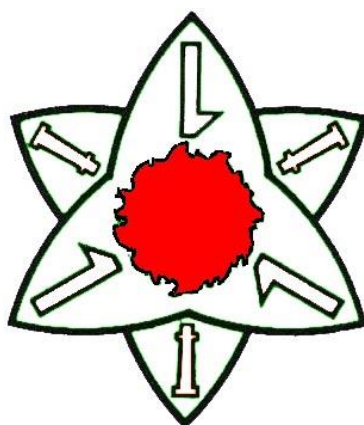


平成29年

# 救急・救助統計



安全と安心のまちづくり

火事と救急・救助は119番

消防テレホンサービス 22-9944  
(火災情報・休日診療情報)

酒田地区広域行政組合

## 目 次

1	はじめに	1
2	救急の概要	1
3	高度処置救急隊の救命処置状況	1
4	応急手当普及啓発活動の状況	1
5	消防隊等の救急活動支援の状況	2
6	ドクターヘリ運航状況	2
7	救助の概要	2

### 救急資料

1	月ごとの出動件数及び搬送人員	3
2	市町別の救急出動件数及び搬送人員	4
3	年齢区分別に見た事故種別ごとの搬送人員	5
4	重症度別の搬送人員	6
5	救急出動件数及び搬送人員の推移	6
6	事故種別ごとの出動件数の推移	7
7	主な事故種別の推移	7
8	曜日別の出動件数	8
9	覚知時刻別の出動件数	8
10	現場到着所要時間別の出動件数	9
11	収容所要時間別の搬送人員	9
12	医療機関別の搬送人員	10
13	救急隊員が行った応急処置	11
14	消防職員の救急隊員資格の取得状況	12
15	特定行為の実施状況	12
16	応急手当普及啓発活動の実施状況	13
17	消防隊等による救急活動支援の状況	14

### 救助資料

18	事故種別救助活動の状況	15
19	月別の救助出動の状況	16
20	市町別の救助出動の状況	17
21	曜日別救助出動の状況	17
22	交通事故における要救助者の重症度の状況	18
23	組合管内へのヘリコプター出動状況	18
24	消防救助技術指導会出場状況（過去5年間）	19

## 1 はじめに

この統計は、平成29年（1月～12月）の酒田地区広域行政組合管内における救急・救助業務の実態を調査分析し、今後における円滑な業務の推進と救命率の向上を図るとともに、住民の皆様からご理解とご協力をいただくために作成しました。

## 2 救急の概要

平成29年中における救急出動件数は5,618件で、前年に比べ5件減少しました。1日の平均出動は15.4件となっています。また、搬送人員は5,306人で前年に比べると21人増加しました。

事故種別ごとにみえますと、急病が59件減少、一般負傷が45件、交通事故が14件、転院搬送が18件増加しました。そのほかの種別は、前年並みの件数で推移しています。

年齢区分別の搬送人員は、65歳以上の方が3,754人で全体の70.8%を占め、昨年（70.4%）とほとんど変わらず、搬送人員の大半を占めています。

重症度別の搬送人員は、「軽症」と「中等症」の搬送者が昨年より増加、一方、「重症」の搬送者が減少し、「中等症」と「軽症」で全体の88.8%を占めています。

過去10年間の救急件数をみると、平成23年までは右肩上がり推移し、平成24年から減少傾向に転じていましたが、平成28年に増加し平成29年は若干減少しています。

## 3 高度処置救急隊の救命処置状況

心肺機能停止状態に陥った方は211人で前年と同数でした。そのうち救急救命士が行う高度な救命処置（器具を用いた気道確保・静脈路確保及び薬剤投与）を施した件数は289件で前年より10件減少しました。

また、平成27年1月から実施された心肺機能停止前の静脈路確保人員は104人で前年より12人増加し、低血糖発作症例へのブドウ糖投与人員が27人で前年より3人減少しました。

## 4 応急手当普及啓発活動の状況

応急手当講習会の開催回数と受講者数は、救命入門コース（90分）76回1,960人、普通救命講習Ⅰ（3時間）74回1,578人、普通救命講習Ⅱ（4時間）3回56人、普通救命講習Ⅲ（3時間）7回104人、上級救命講習（8時間）1回29人、普及員講習（8時間）1回11人、普及員再講習（3時間）3回63人、指導員講習1回18人、指導員再講習（3時間）3回7人の合計3,826人が受講し、前年に比べ112人の減少となりました。

全体の受講者数は減少しましたが、普通救命講習Ⅰ、普通救命講習Ⅲ及び普及員講習といった、より内容の充実した講習会の受講者数が増加しました。

今後も救命率、社会復帰率の向上を目指し、多くの皆様から応急手当を身につけていただくため関係機関との連携を図り、応急手当講習会の開催を積極的に推進していきます。

また、小学生、中学生、高校生及び大学生に対しても生涯学習の一環とし

て、応急手当講習会受講を呼び掛け、「救命の連鎖」「予防救急の重要性」「命の大切さ」を訴え、進んで応急手当ができるよう普及啓発に努めていきます。

## 5 消防隊等の救急活動支援の状況

P A連携とは、ポンプ車 (Pumper) 及び救急車 (Ambulance) が同時に出動することで、双方の頭文字から「P A」といい、消防隊と救急隊が連携して傷病者の救出・救護処置を迅速かつ確実に実施することを目的としています。

例えば、心肺機能が停止した傷病者に対応する場合、現場で高度な救命処置を行うため、多くの救急資器材が必要となって収容に時間を要します。また、高層階、階段・通路が狭いところから傷病者を収容する場合も救急隊員だけでは多くの時間を要します。そのため、救急通報段階で必要と認められる場合には、救急車に加えて消防車を同時に出動させています。

なお、平成29年中のP A連携出動件数は445件で、前年に比べ14件増加しました。

## 6 ドクターヘリ運行状況

平成29年中においてドクターヘリを要請した件数は25件で、その内実際に出動したのは13件で、天候不良やキャンセル等で途中引き揚げしたものが5件あり、実際に現場まで出動し搬送した件数は8件でした。

出動したドクターヘリの内訳は、山形県ドクターヘリ7件、秋田県ドクターヘリ1件で、市町別の内訳では、酒田市7件、庄内町1件、遊佐町0件となっています。

## 7 救助の概要

平成29年中における救助出動件数は56件(前年75件)で、前年より19件減少しました。事故種別の内訳として、交通事故が23件で全出動件数の

(41.1%)、その他の事故が17件(30.4%)で、その他の事故に含まれる山岳事故が10件ありました。次いで建物等による事故が7件(12.5%)、水難事故が5件(8.9%)、火災が3件(5.3%)、機械による事故が1件(1.8%)となっています。

前年と比較して、増加したのは建物以外の火災、機械による事故、山岳事故を除いたその他の事故で、他の種別は全て減少しました。

救助した人員については44人で前年より5人減少しました。また、組合管内に救助の目的でヘリコプターが出動した件数は9件で、その内訳は山形県消防防災航空隊が6件、秋田県消防防災航空隊が1件、山形県警察航空隊が2件となっています。

1 月ごとの出動件数及び搬送人員

(件、人)

月別	年別	救急事故種別												合計		
		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				
												転院搬送	医師搬送		資器材輸送	その他
1	平成29年	1 (1)		1 (1)	30 (29)	2 (2)		75 (72)		2 (1)	354 (327)	29 (29)			5 (1)	499 (463)
	平成28年	3			27 (28)	2 (1)	3 (3)	71 (64)		5 (3)	338 (319)	33 (33)			2	484 (451)
2	平成29年	2 (1)			23 (23)	3 (3)		60 (55)		3 (1)	320 (301)	25 (25)			3	439 (409)
	平成28年	4			12 (12)	2 (2)		73 (72)	2 (2)	2 (2)	336 (315)	28 (28)	1		5 (2)	465 (435)
3	平成29年	4		1 (1)	18 (20)	1 (1)	1 (1)	60 (59)		5 (3)	301 (284)	39 (39)			1	431 (409)
	平成28年	2			20 (19)	3 (3)		78 (75)	1 (1)	6 (2)	331 (315)	29 (29)			3	473 (444)
4	平成29年	7 (2)		1 (1)	18 (17)	3 (3)	2 (2)	69 (68)	1 (1)	4 (1)	286 (267)	37 (37)			5	433 (399)
	平成28年	2 (3)			32 (43)	4 (4)		51 (49)	1 (1)	6 (5)	288 (268)	36 (36)			5	425 (409)
5	平成29年	4 (1)		1 (1)	32 (28)	4 (4)	4 (4)	55 (53)		7 (3)	287 (275)	31 (31)			4 (2)	429 (402)
	平成28年	2		2 (1)	25 (25)	4 (4)	6 (6)	67 (64)		3 (2)	327 (318)	35 (35)	1		5	477 (455)
6	平成29年	1 (1)		1	23 (23)	1 (1)	7 (7)	75 (73)		3 (3)	293 (287)	35 (35)			4 (1)	443 (431)
	平成28年			1	35 (34)	3 (3)	6 (6)	50 (49)	1 (1)	2 (2)	292 (277)	37 (37)			4	431 (409)
7	平成29年	1		3 (1)	30 (34)	8 (8)	8 (8)	57 (56)	2 (2)	4 (3)	342 (325)	39 (39)			1	495 (476)
	平成28年	1			32 (30)	5 (5)	8 (8)	61 (60)			336 (322)	36 (36)			5 (1)	484 (462)
8	平成29年	9 (1)		1	39 (43)	4 (4)	4 (4)	79 (75)	3 (3)	2 (2)	351 (336)	37 (37)			4 (1)	533 (506)
	平成28年	3		2 (1)	39 (40)	9 (9)	7 (6)	66 (63)		4 (2)	365 (338)	31 (31)			5	531 (490)
9	平成29年	1 (1)			42 (46)	6 (6)	3 (3)	81 (77)		5 (5)	278 (264)	36 (36)			4	456 (438)
	平成28年	2			36 (34)	3 (3)	2 (4)	59 (56)	1 (1)	5 (3)	309 (297)	34 (34)			13 (4)	464 (436)
10	平成29年	1			25 (23)	5 (5)	2 (2)	57 (57)		2	319 (307)	29 (29)			6	446 (423)
	平成28年	2		1	23 (22)	1 (1)	7 (7)	62 (59)		7 (4)	296 (278)	26 (26)			1	426 (397)
11	平成29年	2		1 (1)	27 (28)	3 (2)	1 (1)	86 (84)		3 (3)	305 (286)	30 (30)			2 (1)	460 (436)
	平成28年	3		1	28 (27)	3 (3)	4 (4)	65 (66)		3 (2)	295 (280)	34 (34)			8 (1)	444 (417)
12	平成29年				47 (43)	3 (3)	3 (3)	72 (72)	1	3 (2)	376 (347)	44 (44)			5	554 (514)
	平成28年	3 (1)			31 (28)	6 (6)	1 (1)	78 (75)	3 (2)	3 (2)	358 (330)	34 (34)			2 (1)	519 (480)
平成29年計		33 (8)		10 (6)	354 (357)	43 (42)	35 (35)	826 (801)	7 (7)	43 (27)	3,812 (3,606)	411 (411)			44 (6)	5,618 (5,306)
平成28年計		27 (4)		7 (2)	340 (342)	45 (44)	44 (45)	781 (752)	9 (8)	46 (29)	3,871 (3,657)	393 (393)	2		58 (9)	5,623 (5,285)
増減		6 (4)		3 (4)	14 (15)	△2 (△2)	△9 (△10)	45 (49)	△2 (△1)	△3 (△2)	△59 (△51)	18 (18)	△2		△14 (△3)	△5 (21)

※( )は搬送人員です。

2 市町別の救急出動件数及び搬送人員

(件、人)

市町別	年別	救急事故の種類												合計		
		火災	自然災害事故	水難事故	交通事故	労働災害事故	運動競技事故	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				
												転院搬送	医師搬送		資材輸送	その他
酒田市	平成29年	20 (7)		5 (4)	278 (279)	35 (35)	29 (29)	628 (609)	5 (6)	29 (20)	2,801 (2,651)	352 (352)			40 (5)	4,222 (3,997)
	平成28年	22 (4)		3 (1)	251 (246)	31 (30)	27 (26)	590 (569)	8 (7)	37 (24)	2,842 (2,687)	347 (347)	1		43 (8)	4,202 (3,949)
庄内町	平成29年	9 (1)		1	42 (45)	3 (3)	6 (6)	114 (112)	2 (1)	8 (5)	613 (589)	43 (43)			2 (1)	843 (806)
	平成28年	2		3 (1)	56 (59)	6 (6)	8 (8)	116 (111)		5 (3)	588 (564)	38 (38)			7	829 (790)
遊佐町	平成29年	4		4 (2)	34 (33)	5 (4)		84 (80)		5 (1)	397 (365)	16 (16)			2	551 (501)
	平成28年	3		1	30 (36)	8 (8)	9 (11)	75 (72)	1 (1)	4 (2)	440 (405)	8 (8)	1		8 (1)	588 (544)
管外	平成29年									1 (1)	1 (1)					2 (2)
	平成28年				3 (1)							1 (1)				4 (2)
平成29年計		33 (8)		10 (6)	354 (357)	43 (42)	35 (35)	826 (801)	7 (7)	43 (27)	3,812 (3,606)	411 (411)			44 (6)	5,618 (5,306)
平成28年計		27 (4)		7 (2)	340 (342)	45 (44)	44 (45)	781 (752)	9 (8)	46 (29)	3,871 (3,657)	393 (393)	2		58 (9)	5,623 (5,285)
増減		6 (4)		3 (4)	14 (15)	△2 (△2)	△9 (△10)	45 (49)	△2 (△1)	△3 (△2)	△59 (△51)	18 (18)	△2		△14 (△3)	△5 (21)

※ ( )は搬送人員です。

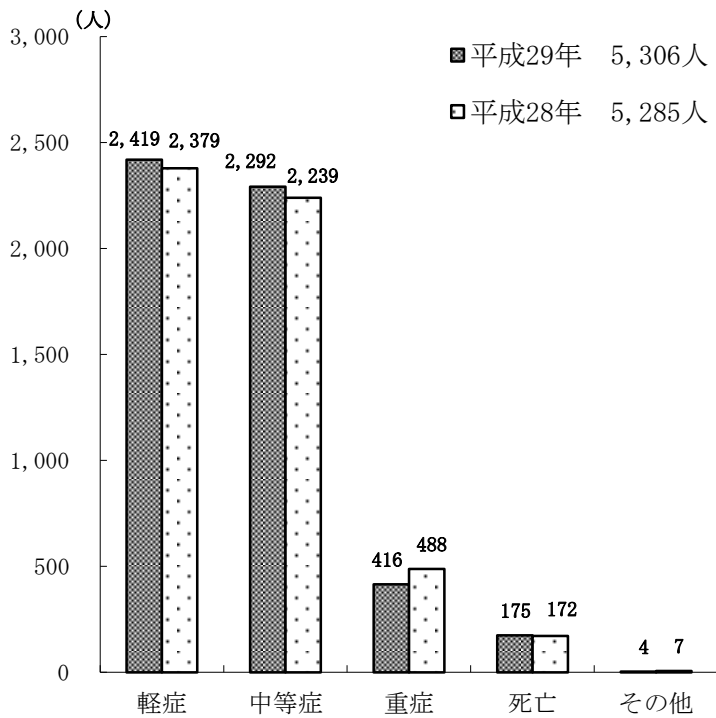
### 3 年齢区分別に見た事故種別ごとの搬送人員

(人)

事故種別 年齢区分	火 災	自然 災害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
新 生 児 生後28日以内										1	8	9
乳 幼 児 生後29日以上満7歳未満				4			23			87	3	117
少 年 満7歳以上満18歳未満				28		25	17		1	48	7	126
成 人 満18歳以上満65歳未満	4		2	203	36	8	138	5	16	779	109	1,300
高 齢 者 満65歳以上	4		4	122	6	2	623	2	10	2,691	290	3,754
平成29年計	8		6	357	42	35	801	7	27	3,606	417	5,306
平成28年計	4		2	342	44	45	752	8	29	3,657	402	5,285
増 減	4		4	15	△2	△10	49	△1	△2	△51	15	21

※ 事故種別の「その他」とは、「転院搬送」、「医師搬送」、「資器材輸送」及び「その他(分類不能のもの)」です。

#### 4 重症度別の搬送人員

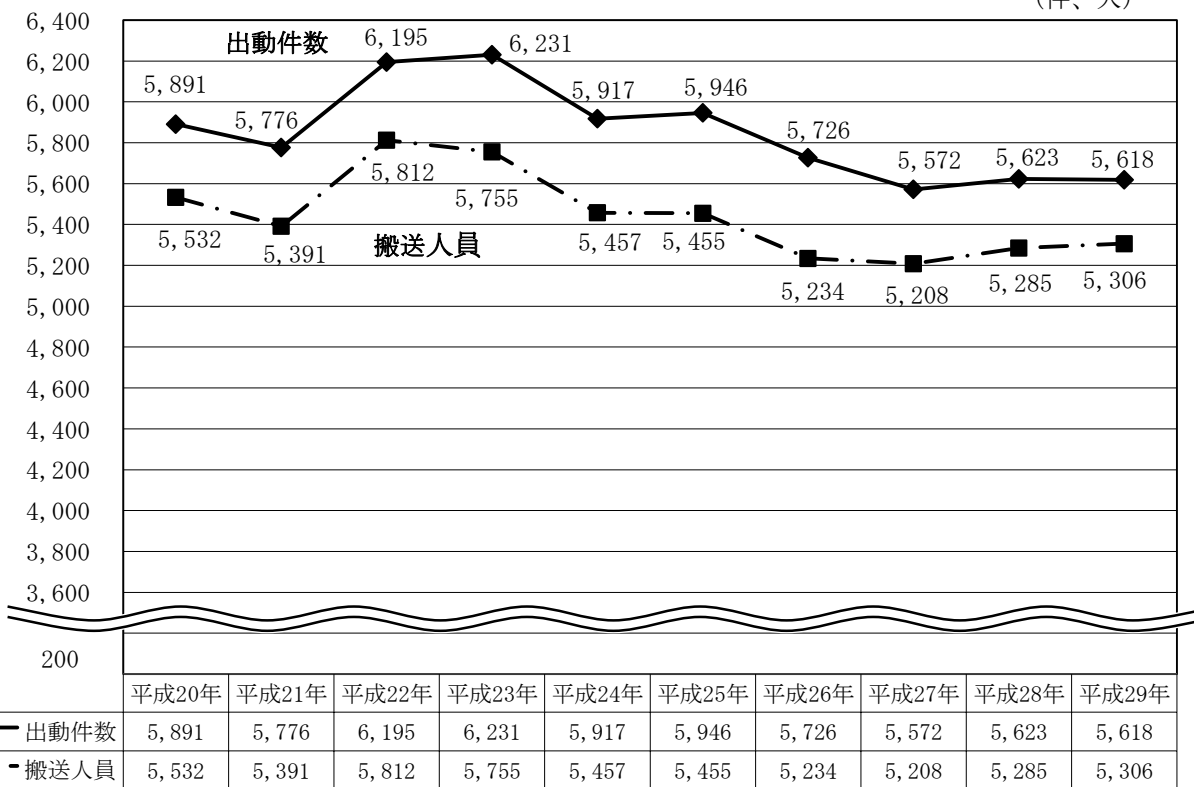


傷病程度は、初診時における医師の診断に基づき次により分類する

軽症	入院加療を必要としないもの
中等症	入院加療を必要とするもので重症に至らないもの
重症	三週間以上入院加療を必要とするもの
死亡	初診時において、死亡が確認されたもの
その他	医師の診断がないもの及び搬送先がその他の場所へ搬送したもの

#### 5 救急出動件数及び搬送人員の推移

(件、人)



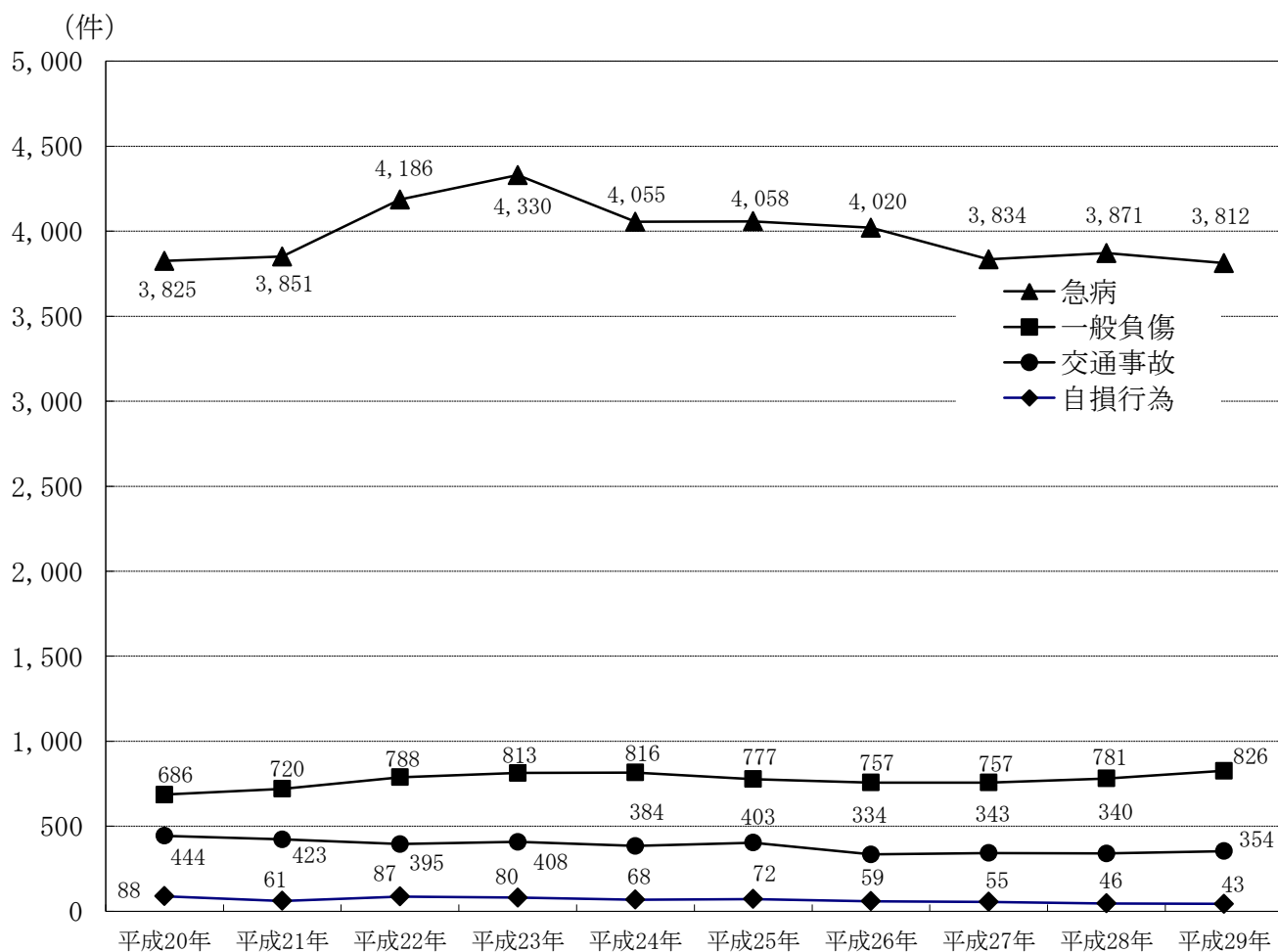


## 6 事故種別ごとの出動件数の推移

(件)

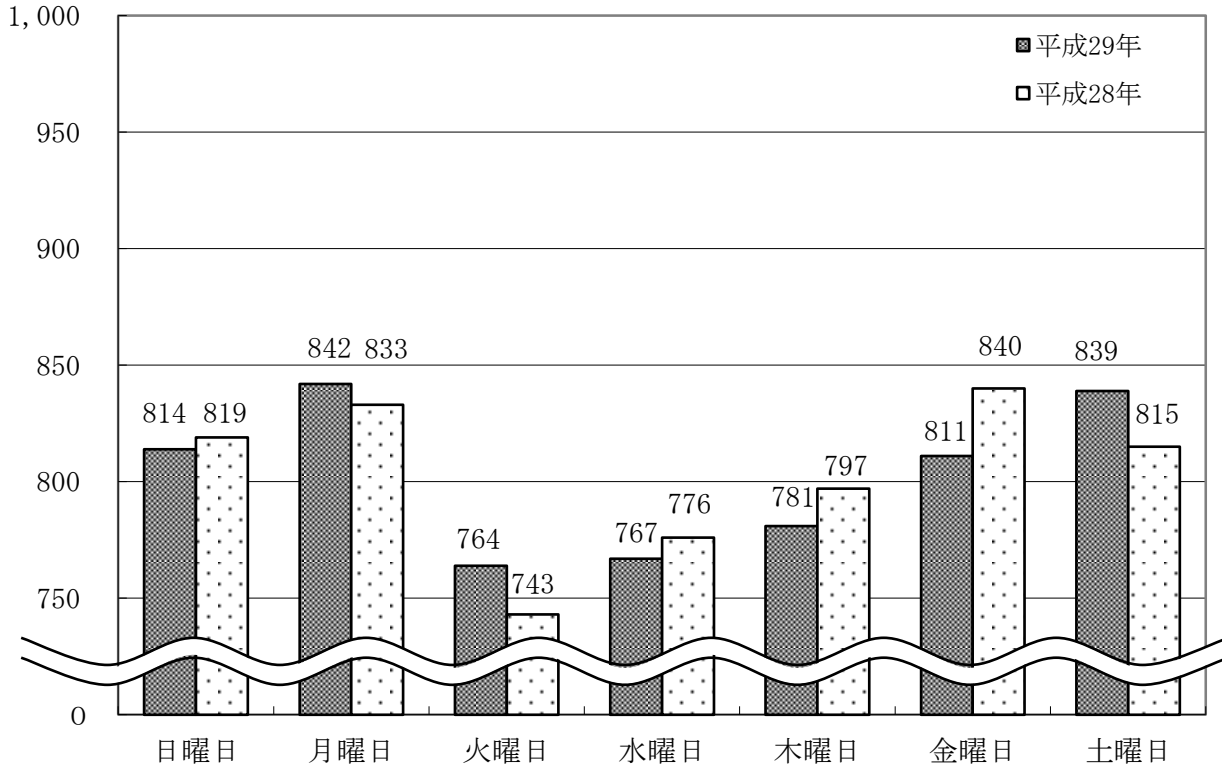
事故種別 年別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				計
											転院搬送	医師搬送	資器材送	その他	
平成20年	36		4	444	40	48	686	20	88	3,825	666	1		33	5,891
平成21年	39	2	3	423	44	28	720	15	61	3,851	556	1		33	5,776
平成22年	37		6	395	33	47	788	15	87	4,186	576			25	6,195
平成23年	26	1	7	408	37	52	813	16	80	4,330	394	2	1	64	6,231
平成24年	32	3	3	384	57	29	816	4	68	4,055	394	2		70	5,917
平成25年	25		7	403	41	41	777	17	72	4,058	415	4		86	5,946
平成26年	42		6	334	32	39	757	13	59	4,020	346	7		71	5,726
平成27年	28		4	343	52	45	757	14	55	3,834	375	4		61	5,572
平成28年	27		7	340	45	44	781	9	46	3,871	393	2		58	5,623
平成29年	33		10	354	43	35	826	7	43	3,812	411			44	5,618

## 7 主な事故種別の推移



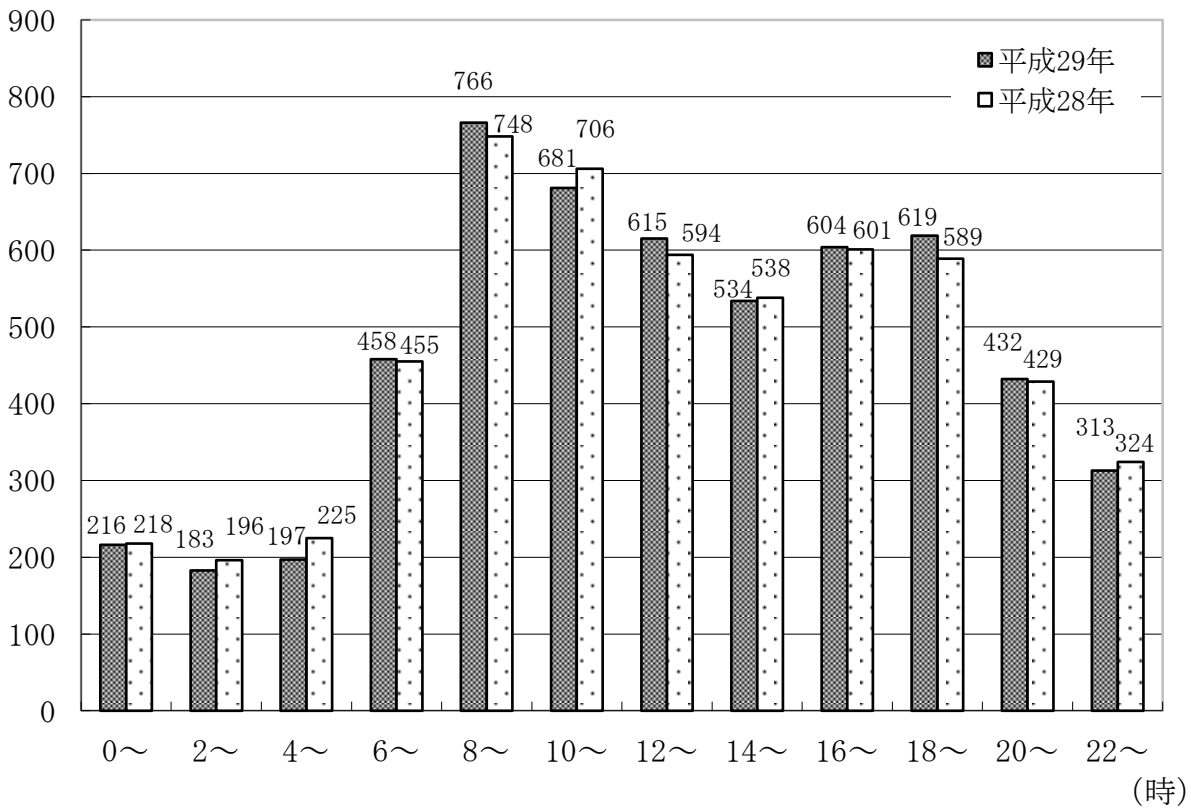
8 曜日別の出動件数

(件)



9 覚知時刻別の出動件数

(件)



## 10 現場到着所要時間別の出動件数

(件)

事故 種別・年別		時間別					計	平均時間
		3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上		
急病	平成29年	27	299	2,548	912	26	3,812	平成29年 8分35秒  平成28年 8分46秒
	平成28年	18	213	2,665	937	38	3,871	
一般負傷	平成29年	2	50	544	218	12	826	
	平成28年	3	45	499	217	17	781	
交通事故	平成29年	2	24	208	106	14	354	
	平成28年	2	15	189	121	13	340	
上記以外	平成29年	23	82	392	109	20	626	
	平成28年	20	83	400	111	17	631	
計	平成29年	54	455	3,692	1,345	72	5,618	
	平成28年	43	356	3,753	1,386	85	5,623	
比率	平成29年	1.0%	8.1%	65.7%	23.9%	1.3%	100%	
	平成28年	0.8%	6.3%	66.7%	24.7%	1.5%	100%	

※ 救急出動で途中引き揚げした場合は、引き揚げ時刻を現場到着時刻としています。

## 11 収容所要時間別の搬送人員

(人)

事故 種別・年別		時間別					計	
		10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満		120分以上
急病	平成29年	1	66	1,302	2,133	103	1	3,606
	平成28年		77	1,338	2,164	75	3	3,657
一般負傷	平成29年		18	248	491	43	1	801
	平成28年		13	219	495	24	1	752
交通事故	平成29年		5	97	239	15	1	357
	平成28年		1	91	213	37		342
上記以外	平成29年		11	259	236	19	17	542
	平成28年		10	278	221	11	14	534
計	平成29年	1	100	1,906	3,099	180	20	5,306
	平成28年		101	1,926	3,093	147	18	5,285
比率	平成29年	0.0%	1.9%	35.9%	58.4%	3.4%	0.4%	100%
	平成28年		1.9%	36.5%	58.5%	2.8%	0.3%	100%

※ 比率の単位未満は、四捨五入してあるため、合計数値が一致しない場合があります。

## 12 医療機関別の搬送人員

(人)

搬送先 月別・年別		管内					管外			医療機関 以外	計
		告示医療機関					鶴岡市	山形市	山形市 鶴岡市 以外		
		日本海 総合病院	庄内 余目病院	市立 八幡病院	本間 病院	非告示の 医療機関					
1月	平成29年	273	100	17	53	13	6		1		463
	平成28年	277	79	21	51	13	8	1	1		451
2月	平成29年	252	89	15	31	16	4	2			409
	平成28年	274	77	26	42	8	6	2			435
3月	平成29年	245	96	11	31	7	17	1	1		409
	平成28年	270	87	18	59	7	1	2			444
4月	平成29年	248	74	23	37	11	4	2			399
	平成28年	244	79	16	44	19	6	1			409
5月	平成29年	240	83	17	45	10	6	1			402
	平成28年	285	76	14	57	16	3	3	1		455
6月	平成29年	277	76	16	40	12	8	1	1		431
	平成28年	246	74	18	50	13	7		1		409
7月	平成29年	283	93	18	54	18	8	1	1		476
	平成28年	261	87	27	70	12	4	1			462
8月	平成29年	295	97	25	63	12	14				506
	平成28年	285	95	26	66	10	7		1		490
9月	平成29年	288	81	23	37	8	1				438
	平成28年	245	98	32	44	11	6				436
10月	平成29年	285	71	16	34	13	4				423
	平成28年	238	71	12	57	10	7	2			397
11月	平成29年	282	69	25	35	15	9		1		436
	平成28年	242	87	20	51	9	5	3			417
12月	平成29年	324	104	17	48	9	9	1	2		514
	平成28年	296	100	16	52	10	4	2			480
計	平成29年	3,292	1,033	223	508	144	90	9	7		5,306
	平成28年	3,163	1,010	246	643	138	64	17	4		5,285
比率	平成29年	62.0%	19.5%	4.2%	9.6%	2.7%	1.7%	0.2%	0.1%		100%
	平成28年	59.8%	19.1%	4.7%	12.2%	2.6%	1.2%	0.3%	0.1%		100%

13 救急隊員が行った応急処置

(人、回)

処置項目	年別 種別 人員	平成29年					平成28年					増減
		急病	交通事故	一般負傷	その他	計	急病	交通事故	一般負傷	その他	計	
		3,601	357	796	525	5,279	3,654	339	750	519	5,262	17
止血		12	14	72	20	118	15	18	65	10	108	10
固定		31	184	124	37	376	23	185	120	41	369	7
心肺蘇生		167	2	20	15	204	154	4	25	14	197	7
うち自動												
人工呼吸のみ		19				19	13		1		14	5
胸骨圧迫												
うち自動												
酸素吸入		1,006	25	57	141	1,229	1,109	33	69	140	1,351	△ 122
気道確保		293	3	24	23	343	318	7	34	25	384	△ 41
うち※1		2		1	1	4						4
うち※2		6		1		7	8		2		10	△ 3
うち※3		119	1	11	10	141	120	1	18	10	149	△ 8
うち※4		1	1	2		4	4		3		7	△ 3
保温		607	48	132	73	860	443	23	88	63	617	243
被覆		9	41	143	27	220	9	53	157	32	251	△ 31
在宅療法継続		40		3	3	46	57		2		59	△ 13
うち※A		2			1	3	5				5	△ 2
うち※B		4				4	7		1		8	△ 4
うち※C		34		3	2	39	45		1		46	△ 7
ショックパンツ												
除細動		12			3	15	16			2	18	△ 3
静脈路確保		183	1	10	16	210	161	4	19	10	194	16
心肺停止前		95	1	3	5	104	84	2	3	3	92	12
心肺停止後		88		7	11	106	77	2	16	7	102	4
薬剤投与		32		2	4	38	33		6	2	41	△ 3
血糖測定		341	2	15	9	367	258	3	4	6	271	96
ブドウ糖投与		27				27	30				30	△ 3
エピペン投与												
血圧測定		3,403	348	761	480	4,992	3,420	314	708	481	4,923	69
心音呼吸音聴取		919	105	84	84	1,192	934	121	95	69	1,219	△ 27
血中酸素飽和度測定		3,428	345	761	500	5,034	3,476	322	712	494	5,004	30
心電図測定		2,422	83	173	218	2,896	2,304	83	159	196	2,742	154
その他		1,153	67	231	143	1,594	1,100	36	170	146	1,452	142
計		14,104	1,268	2,612	1,796	19,780	13,873	1,206	2,434	1,731	19,244	536

※ 気道確保：※1 経鼻エアウェイ ※2 喉頭鏡・鉗子による異物除去 ※3 LT等処置 ※4 気管挿管処置  
 ※ 在宅療法継続：※A 点滴処置が施された者 ※B 気管切開、人工肛門等の外瘻が施された者 ※C A・B以外の者  
 ※ 1人につき複数の応急処置を行うこともあるため、対象人員と処置項目の計の数とは一致しない場合があります。  
 ※ 不搬送時に処置した件数についても計上したため、搬送人員を上回る場合もあります。

14 消防職員の救急隊員資格の取得状況

(人)

資格別 年別	合 計	救急救命士	救急科 (旧救急標準課程含)	旧救急Ⅱ課程	旧救急Ⅰ課程
平成25年	205	40	94	68	3
平成26年	201	42	97	60	2
平成27年	198	44	103	49	2
平成28年	200	49	113	37	1
平成29年	207	48	129	29	1

15 特定行為の実施状況

(件、人)

区分 年別	心肺蘇生法 実施人員	除細動 実施人員	薬剤投与 アドレナリン 実施人員 ①	気道確保実施 ②		静脈路確保 実施人員 ③	心肺停止後 特定行為 処置件数 ①+②+③	心肺停止前 静脈路確保 実施人員 ④	心肺停止前 ブドウ糖投与 実施人員 ⑤	特定行為 延べ件数 ①+②+③ +④+⑤
					うち 気管挿管					
平成25年	217	7	28	183	5	151	362			
平成26年	220	23	38	164	9	121	323			
平成27年	189	19	45	134	4	103	282	60	14	356
平成28年	211	18	41	156	7	102	299	92	30	421
平成29年	211	15	38	145	4	106	289	104	27	420

※ 心肺蘇生法実施人員とは、救急隊が心肺蘇生又は胸骨圧迫のみ、人工呼吸のみのうちいずれかを実施して搬送した人数です。

※ 除細動は、平成15年4月から医師の具体的指示を必要としないため、特定行為から除外されています。

※ 心肺停止前の特定行為は平成27年1月から認められた行為です。

## 16 応急手当普及啓発活動の実施状況

(回、人)

区分 月別	救急手当普及啓発活動の実施状況										
	救命入門コース	普通救命講習Ⅰ	普通救命講習Ⅱ	普通救命講習Ⅲ	上級救命講習	普及員講習	普及員再講習	指導員講習	指導員再講習	計	
1月	回数		7							7	
	人数		184							184	
2月	回数	1	10							11	
	人数	8	186							194	
3月	回数	4	2	1		1				8	
	人数	135	51	23		29				238	
4月	回数	1	2							3	
	人数	28	70							98	
5月	回数	4	1		1					6	
	人数	57	11		17					85	
6月	回数	18	10	1	4					33	
	人数	514	180	25	65					784	
7月	回数	26	4					1	1	32	
	人数	554	94					24	1	673	
8月	回数	7	8					2	2	19	
	人数	146	144					39	6	335	
9月	回数	4	7	1			1			13	
	人数	77	150	8			11			246	
10月	回数	1	4							5	
	人数	18	52							70	
11月	回数	7	10		1					18	
	人数	382	199		12					593	
12月	回数	3	9		1			1		14	
	人数	41	257		10			18		326	
29年	回数	76	74	3	7	1	1	3	1	3	169
	人数	1,960	1,578	56	104	29	11	63	18	7	3,826
28年	回数	86	70	4	1	2	1	3	2	3	172
	人数	2,203	1,508	76	19	38	6	55	27	6	3,938
増減	回数	△ 10	4	△ 1	6	△ 1			△ 1		△ 3
	人数	△ 243	70	△ 20	85	△ 9	5	8	△ 9	1	△ 112

※ 救命入門コース(90分)：住民に対する応急手当の導入講習です。

普通救命講習Ⅰ(3時間)：住民に対する標準的な講習です。(主に成人に対する心肺蘇生法)

普通救命講習Ⅱ(4時間)：住民に対する標準的な講習です。(AEDの一定頻度使用者が対象の心肺蘇生法)

普通救命講習Ⅲ(3時間)：住民に対する標準的な講習です。(主に小児・乳児・新生児に対する心肺蘇生法)

上級救命講習(8時間)：普通救命講習より高度な講習です。

普及員講習(24時間)：主として事業所又は防災組織等において、当該事業所の従業員又は防災組織等の構成員に対し、普通救命講習の指導に従事する者の講習です。

指導員講習(8時間)：当広域行政組合の行う普通救命講習又は上級救命講習の指導に従事する者の講習です。

17 消防隊等による救急活動支援の状況

(1) 月別

(件)

(2) 署別

(件)

月別	年別	種別						合計	署別	年別	種別						合計					
		C P A	交 通	高 エ ネ ル ギ ー	多 層 階	へ り 支 援	そ の 他				C P A	交 通	高 エ ネ ル ギ ー	多 層 階	へ り 支 援	そ の 他						
1	平成29年	8	1		10		17	36	消防署	平成29年	37	16	10	64	2	72	201					
	平成28年	16	1	3	12		10	42		平成28年	27	11	10	82	5	42	177					
2	平成29年	8	1		15		17	41	東分署	平成29年	1			1		3	5					
	平成28年	15	1	1	14	2	11	44		平成28年				1			1					
3	平成29年	7	1	4	13		20	45	西分署	平成29年	17	4	3	27		34	85					
	平成28年	7	2	1	11		6	27		平成28年	23	7	12	39		31	112					
4	平成29年	8	1	2	9	2	17	39	南分署	平成29年	3	1		4		5	13					
	平成28年	8	3	2	15	1	7	36		平成28年	5	3		2		3	13					
5	平成29年	9			7	1	17	34	立川分署	平成29年												
	平成28年	4	4	5	8	3	14	38		平成28年		1			1		2					
6	平成29年	7	3	2	13		12	37	余目分署	平成29年	22	1	1	13		29	66					
	平成28年	6	3	1	11		9	30		平成28年	20	7	4	13	1	11	56					
7	平成29年	4	4		9		15	32	遊佐分署	平成29年	15	5	5	10	1	33	69					
	平成28年	5		4	15	3	13	40		平成28年	18	3	8	13	3	21	66					
8	平成29年	8	3	2	14		14	41	八幡分署	平成29年						1	1					
	平成28年	4	7	4	9		7	31		平成28年						1	1					
9	平成29年	8	5	3	10		15	41	松山分署	平成29年	1					1	2					
	平成28年	7	2	4	9		7	29		平成28年					2		2					
10	平成29年	10	2	2	7	1	10	32	平田分署	平成29年	1		1		1		3					
	平成28年	7	3	2	12	1	8	33		平成28年						1	1					
11	平成29年	8		3	5		10	26	平成29年							97	27	20	119	4	178	445
	平成28年	5	4	2	18	2	7	38	平成28年							93	32	34	150	12	110	431
12	平成29年	12	6	2	7		14	41	増減							4	△ 5	△ 14	△ 31	△ 8	68	14
	平成28年	9	2	5	16		11	43														
平成29年		97	27	20	119	4	178	445														
平成28年		93	32	34	150	12	110	431														
増減		4	△ 5	△ 14	△ 31	△ 8	68	14														

※ 救急活動支援（PA連携）とは、消防隊や救助隊が現場に出動し、救急隊の処置や搬送等を支援したり、交通事故現場において、救急隊の安全確保のための支援活動のことです。

※ その他とは、搬送困難、加害、傷病者多数などの支援活動のことです。



18 事故種別救助活動の状況

(件、人)

年 別 区 分 事 故 種 別		平 成 2 9 年			平 成 2 8 年		
		出 動 件 数	活 動 件 数	救 助 人 員	出 動 件 数	活 動 件 数	救 助 人 員
火 災	建 物	2	2	1	4	4	1
	建 物 以 外	1	1				
交 通 事 故		23	16	19	35	21	25
水 難 事 故		5	4	4	9	6	6
風 水 害 等 自 然 災 害							
機 械 に よ る 事 故		1					
建 物 等 に よ る 事 故		7	5	5	11	8	7
ガ ス 及 び 酸 欠 事 故							
破 裂 事 故							
そ の 他 の 事 故	山 岳 事 故	10	9	8	14	9	8
	そ の 他	7	6	7	2	2	2
合 計		56	43	44	75	50	49

19 月別の救助出動の状況

(件、人)

月別	年別	救助事故種別										合計	
		火災		交通事故	水難事故	風自然 水災害 等害	機よる 械よる 事に故	建よる 物る 等に故	ガ酸 ス欠 及事 び故	破裂 事故	その他の事故		
		建 物	建以 物外								山事 岳故		そ の 他
1	平成29年			1 (1)				1 (1)					2 (2)
	平成28年			3 (4)									3 (4)
2	平成29年	1		1 (1)									2 (1)
	平成28年	3		4 (3)								1 (1)	8 (4)
3	平成29年				1 (1)			1 (1)				2 (1)	4 (3)
	平成28年			1									1
4	平成29年							3 (2)					3 (2)
	平成28年			1 (1)				1					2 (1)
5	平成29年			2 (4)							2 (2)	1 (1)	5 (7)
	平成28年			4 (1)	1						1		6 (1)
6	平成29年			2 (2)	1 (1)								3 (3)
	平成28年			2 (2)	1 (1)			1 (1)			1 (1)		5 (5)
7	平成29年	1 (1)		3 (3)	3 (2)						2 (2)	1 (1)	10 (9)
	平成28年			4 (4)	1 (1)			1 (1)			9 (5)		15 (11)
8	平成29年		1	4 (2)							4 (2)		9 (4)
	平成28年			4 (3)	3 (3)			1			1		9 (6)
9	平成29年			3 (2)							2 (2)	1 (1)	6 (5)
	平成28年			4 (3)	1			3 (2)			1 (1)	1 (1)	10 (7)
10	平成29年			2 (2)			1	1 (1)				1 (1)	5 (4)
	平成28年			2 (2)	1 (1)			2 (2)			1 (1)		6 (6)
11	平成29年			3 (1)								1 (2)	4 (3)
	平成28年			2	1			1 (1)					4 (1)
12	平成29年			2 (1)				1					3 (1)
	平成28年	1 (1)		4 (2)				1					6 (3)
平 成 29年計		2 (1)	1	23 (19)	5 (4)		1	7 (5)			10 (8)	7 (7)	56 (44)
平 成 28年計		4 (1)		35 (25)	9 (6)			11 (7)			14 (8)	2 (2)	75 (49)

※ ( )内は救助人員です。

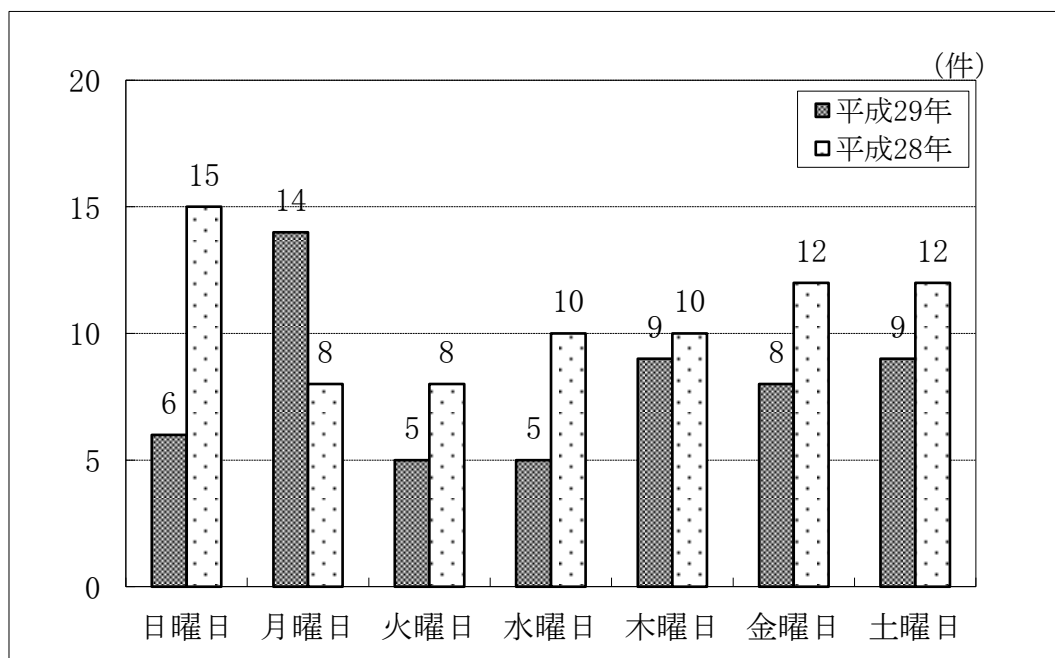
20 市町別の救助出動の状況

(件、人)

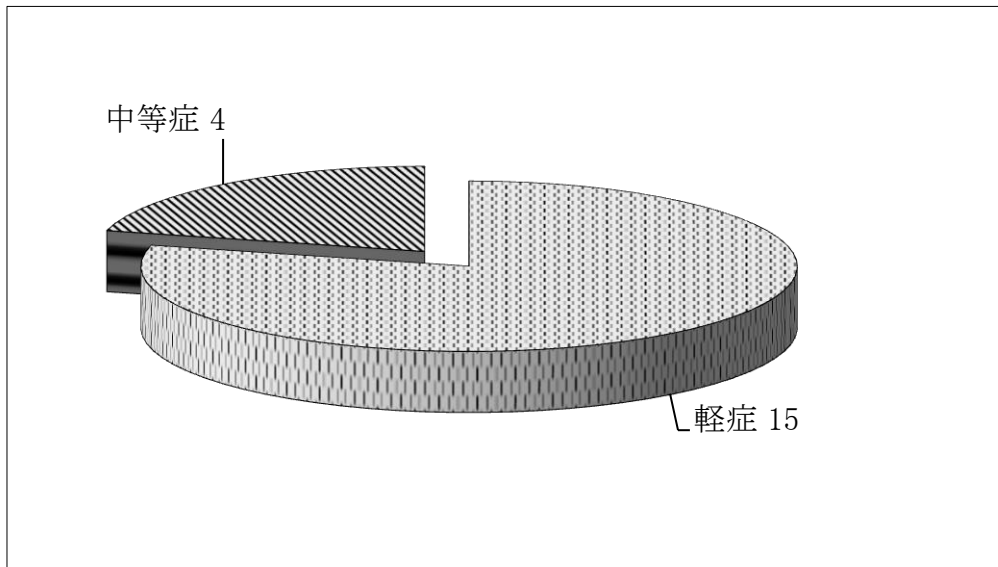
市町別	年別	救助事故種別										合計	
		火災		交通事故	水難事故	風自 水自然 害災 等害	機よ る事 に故	建よ る事 に故	ガ酸 ス欠 及事 び故	破 裂事 故	その他の事故		
		建 物	建以 物外								山事 岳故		そ の 他
酒田市	平成 29年	2 (1)	1	16 (11)	3 (3)		1	7 (5)			1 (1)	5 (5)	36 (26)
	平成 28年	3 (1)		22 (18)	6 (5)			10 (6)				2 (2)	43 (32)
庄内町	平成 29年			4 (4)	1							1 (1)	6 (5)
	平成 28年	1		8 (5)	2 (1)			1 (1)					12 (7)
遊佐町	平成 29年			3 (4)	1 (1)						9 (7)	1 (1)	14 (13)
	平成 28年			4 (2)	1						14 (8)		19 (10)
管外	平成 29年												
	平成 28年			1									1
平成29年計		2 (1)	1	23 (19)	5 (4)		1	7 (5)			10 (8)	7 (7)	56 (44)
平成28年計		4 (1)		35 (25)	9 (6)			11 (7)			14 (8)	2 (2)	75 (49)
増 減		△2	1	△12 (△6)	△4 (△2)		1	△4 (△2)			△4	5 (5)	△19 (△5)

※ ( )内は救助人員です。

21 曜日別救助出動の状況



22 交通事故における要救助者の重症度の状況



23 組合管内へのヘリコプター出動状況

(人)

ヘリコプター種別	年別	出 動 区 分						計	救助人員 (搬送人員)
		救急	救助	山岳救助	山岳遭難	水難救助	その他		
山形県防災ヘリコプター	平成29年			4		2		6	3
	平成28年	1		10		2		13	10
他県の防災ヘリコプター	平成29年			1				1	1
	平成28年			1				1	1
山形県ドクターヘリコプター	平成29年	12						12	5
	平成28年	13						13	9
他県のドクターヘリコプター	平成29年	1						1	1
	平成28年	1						1	1
他機関	山形県警ヘリコプター	平成29年			1		1	2	2
		平成28年				1	1	2	1
	海上保安庁ヘリコプター	平成29年							
		平成28年					1	1	8
自衛隊ヘリコプター	平成29年								
	平成28年					1	1	10	
平成29年計		13		6		2	1	22	12
平成28年計		15		11	1	5		32	40
増 減		△ 2		△ 5	△ 1	△ 3	1	△ 10	△ 28

24 消防救助技術指導会出場状況（過去5年間）

山形県指導会

大会回数	実施年月日	出場種目	成績
25	H25.6.28	障害突破 引揚救助 ほふく救出 ロープブリッジ救出	入賞
26	H26.6.27	引揚救助 ロープブリッジ救出 ロープブリッジ渡過	入賞
27	H27.6.30	ほふく救出 ロープブリッジ救出 ロープブリッジ渡過	入賞
28	H28.6.30	引揚救助 ほふく救出 ロープブリッジ救出 ロープブリッジ渡過	入賞 入賞
29	H29.6.29	引揚救助 ほふく救出 ロープブリッジ救出 ロープブリッジ渡過	入賞 入賞

東北地区支部消防救助技術指導会

大会回数	実施年月日	出場種目	成績
42	H25.7.25	障害突破 引揚救助	入賞
43	H26.7.24	引揚救助	
44	H27.7.30	出場なし	
45	H28.7.29	引揚救助	入賞
46	H29.7.19	出場なし	

全国消防救助技術大会

大会回数	実施年月日	出場種目	成績
42	H25.8.22	引揚救助	入賞

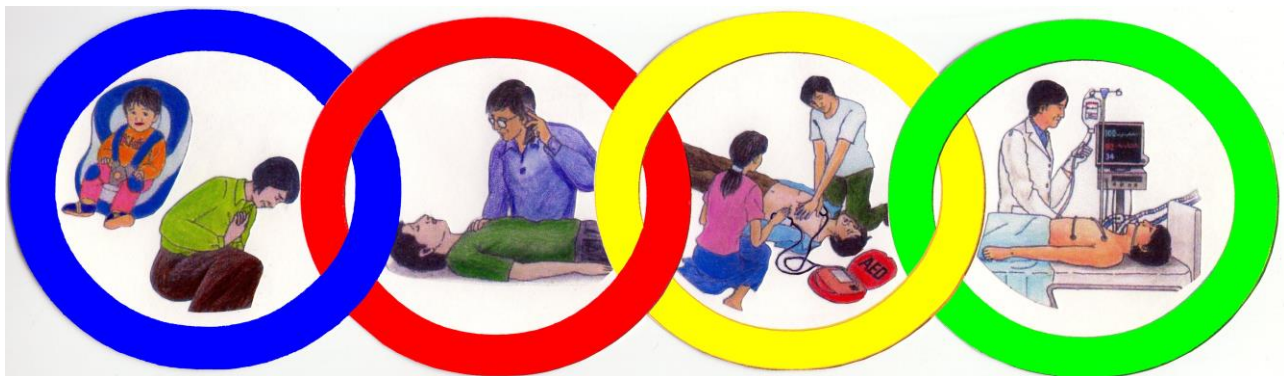
---

---

# 救命の連鎖

---

---



◎心肺停止の予防

◎早期認識と通報

◎一次救命処置

◎二次救命処置と  
心拍再開後の集中治療